

第54回



豊田おいでんまつり 実施報告

令和4年10月20日

豊田おいでんまつり実行委員会

1 構成

豊田おいでんまつりは、マイタウンおいでんとおいでん総踊りからなる「踊り」と、「花火大会」で構成

2 趣旨

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えることができるようなふるさとのまつりを市民・事業者・行政の共働の力でつくりました。また、市民が豊田市の素晴らしさを再認識し、郷土愛を醸成する「WE LOVE とよた」が体感できる取組を行いました。

3 主催

豊田市・中日新聞社・東海テレビ放送

4 基本テーマ

「WE LOVE とよた」 魅力発見 ふるさとのまつり

- ・「WE LOVE とよた」の露出を高め、市内外へとよたの魅力を発信しました。
- ・地域を巻き込んだ「WE LOVE とよた」の演出により、魅力あるまつりとなりました。

5 スケジュール

日 程	内 容
1月 4日(火)～1月14日(金)	マイタウンおいでん開催団体募集
3月22日(火)～5月 6日(金)	踊り連、リトルおいでん、おいでんアート参加申込受付 ※総踊り直接参加希望の中高生連は7月1日(金)までの受付
5月9日(月)～5月23日(月)	協賛席豊田市民先行申込受付
5月16日(月)	マイタウンおいでん参加連の発表
5月16日(月)～5月27日(金)	踊り連、リトルおいでん、おいでんアート追加申込受付 (6月開催マイタウン)
5月16日(月)～6月17日(金)	踊り連、リトルおいでん、おいでんアート追加申込受付 (7月開催マイタウン)
5月30日(月)～6月 3日(金)	リトルおいでん踊り位置抽選
5月28日(土)	追加参加連の発表(6月開催マイタウン) ※以降、7月開催マイタウンの追加参加連は順次発表
6月2日(木)～6月21日(火)	協賛席一般申込受付
6月 4日(土)～7月17日(日)	マイタウンおいでん(14会場)
7月18日(月)	おいでん総踊り参加連の発表
7月19日(火)	おいでん総踊り参加連説明会、踊りスタート位置抽選会
7月26日(火)	おいでん総踊りスタート位置の発表
7月30日(土)	おいでん総踊り
7月31日(日)	花火大会

6 豊田おいでんまつり第54回開催に向けての関係会議等

年	日 程	内 容
令和3年	10月14日(木)	第1回 マイタウンおいでん連絡協議会
	10月15日(金)	第1回 幹事会(基本計画)
	10月22日(金)	第1回 実行委員会(基本計画)
令和4年	1月13日(木)	第2回 マイタウンおいでん連絡協議会
	2月18日(金)	第3回 マイタウンおいでん連絡協議会
	3月11日(金)	第4回 マイタウンおいでん連絡協議会
	4月14日(木)	第5回 マイタウンおいでん連絡協議会
	4月18日(月)	第1回 踊り部会
	4月20日(水)	第2回 幹事会(実施計画)
	4月26日(火)	第2回 実行委員会(実施計画)
	5月6日(金)	第6回 マイタウンおいでん連絡協議会
	5月10日(火)	第2回 踊り部会
	5月18日(水)	花火師事前説明会
	5月26日(木)	第7回 マイタウンおいでん連絡協議会
	5月30日(月)	第3回 踊り部会
	6月13日(月)	第4回 踊り部会
	6月21日(火)	警備部会
	6月27日(月)	第5回 踊り部会
	7月11日(月)	第6回 踊り部会
	7月19日(火)	警備部会
	7月19日(火)	踊り連説明会及びスタート位置決め抽選会
	7月27日(水)	踊り審査員説明会
	8月3日(水)	踊り連意見交換会
	8月8日(月)	第7回 踊り部会
	8月12日(金)	第8回 マイタウンおいでん連絡協議会
	10月6日(木)	第3回 幹事会(実施報告)
10月20日(木)	第3回 実行委員会(実施報告)	

I 踊りについて



1 マイタウンおいでん

(1) 開催実績

- ア 開催期間 6月4日(土)～7月17日(日)
- イ 会場数 14会場(前回実績:15会場)
- ウ 開催回数 14回(前回実績:15回)
- エ 踊り連数 69連 1,254人、リトル: 11連 419人
(前回実績:143連 3,365人、リトル: 10連 395人)
- オ 観客数 18,341人(前回実績:21,980人)
- カ 各マイタウンおいでんの実績

開催日	マイタウン名称	参加数		リトル参加数		観客数
		連	人数	連	人数	
6月4日(土)	いけいけ鞍ヶ池おいでんまつり	3	35	0	0	700
6月11日(土)	エコフルタウンおいでんまつり	4	51	0	0	500
	ほみにおいでん	2	10	0	0	500
6月18日(土)	踊ろ舞!おいでん小原(中止)	-	-	-	-	-
6月25日(土)	足助地区おいでんまつり	4	50	0	0	500
	おいでん香恋の里しもやま	5	93	0	0	400
	猿投おいでん夏まつり	11	197	3	130	3,000
7月2日(土)	IYOIYO おいでん	6	143	0	0	383
	元祖 おいでん上郷!2022	4	60	1	30	2,000
7月3日(日)	おいでんあさひ風鈴まつり	2	15	2	20	300
7月9日(土)	稲武おいでんまつり2022	3	38	0	0	358
	ふじおかおいでん夏まつり	6	120	1	19	2,200
	マイタウンおいでん高岡	3	59	3	113	2,000
	大林納涼祭 "ほ～い、おいでん大林2022"	6	165	1	107	2,000
7月17日(日)	豊スタおいでん夏まつり2022	10	218	0	0	3,500
合計		69	1,254	11	419	18,341
(前回実績)		(143)	(3,365)	(10)	(395)	(21,980)

(2) 概要

- ア マイタウンおいでんは3年ぶりに、1会場の中止を除く、14会場で開催されました。
- イ 各会場において、自治区や商店街、踊り連等で構成するマイタウンおいでん運営委員会が主体となり、風鈴や盆踊り、生演奏など、地域の特色を活かした内容で会場を盛り上げました。
- ウ リトルおいでんは6会場で実施し、未就学児の子どもたちの参加により、発声等の制限がある中でも、会場に活気が溢れ、笑顔でまつりを盛り上げることができました。
- エ マイタウンおいでん連絡協議会においては、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策等、運営面を中心に協議を行い、連携を図りました。

(3) 新たな取組と成果

- ア 新会場として、「エコフルタウン」で開催しました。独自イベントなど、多世代が参加しやすい工夫がなされ、おいでんまつりの魅力を発信することができました。
- イ マイタウンおいでん連絡協議会の共同事業として、「くるくるおいでんピンゴ」を実施しました。各会場にスタンプを設置し、台紙にスタンプを集める試みにより、各会場への来場や集客に寄与しました。
- ウ 新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として、看板設置や会場アナウンスなど、会場スタッフやボランティアが一丸となって、まつりの運営に努めました。
- エ 熱中症対策として、会場にミスト噴霧器を設置しました。また、暑さ指数（WBGT）を測定し、熱中症の危険がある場合は、プログラム変更や中止の検討をすることとしました。
- オ プログラムに、ポップインストラクターによる指導や振付の時間を取り入れ、新振付「ポップ」を練習し、おいでん総踊りの魅力発信に取り組みました。

(4) 課題

マイタウンおいでんとおいでん総踊りの連携を強化し、より多くの踊り連に参加していただけるような内容を検討していく必要があります。

2 おいでん総踊り

(1) 開催実績

- ア 開催日時 7月30日（土）17：30～20：45
- イ 参加者数 28連 600人、リトル：8連 229人
（第51回実績※：70連 2,700人、リトル：35連 1,616人）※中止のため予定数
- ウ スケジュール

行事名	開催時間	場所	主な行事内容
オープニング	17:30～18:50	名鉄 豊田市駅 東側一帯	・WRC PR タイム（トヨタガズーレーシング勝田範彦氏） ・WE LOVE とよたタイム（Star☆T ステージ、トヨタヴェルブリッツ PR） ・名古屋グランパスエイトステージ（チアグランパス） ・おいでん戦隊ミストレンジャーPR ・豊田市ジュニアマーチングバンド等によるパレード ・美里幼稚園の鼓笛隊による演奏 ・大賞旗返還、おいでんコール
リトルおいでん	18:50～19:10		未就学児による踊り
おいでん踊り	19:20～20:45		踊り連（一般・子ども・中高生）による踊り
おいでんアート	19:20～20:45		おいでんアート（1基）
屋台広場	17:00～20:30	拳母神社	屋台

Ⅰ 表彰結果

賞	部門	連名
おいでん大賞	ベーシック	POP de NO.1
	フリー	エンジェル RG
優秀賞	ベーシック	Pabo Pabo!
	フリー	レインボースターランチャー学園
トヨタふれあい大賞	ベーシック	ULYSIS
	フリー	JA あいち豊田こめった食 LOVE
中高生大賞	ベーシック	受験生だぜ！拳母っ子
	フリー	※審査対象連なし
チビッコ大賞	ベーシック	HOPE☆STAR
	フリー	子育て戦隊パパレンジャー
入賞 ※フリー出場連が4連のため、 入賞は全てベーシックから選出		梅坪・浄水スポーツクラブ
		SWEET DEVIL
		おし鴨〜ん。
		DUNLOP
		Heart Beats
		ふわほっぺ
ポップ誕生記念賞	ベーシック	豊栄2区 豊栄キッズ
おいでんアート大賞		大林学区踊り連「大林おしりたんてい君」

※その他個人賞30人(メダル)

(2) 概要

ア おいでん総踊りは、5年ぶりの開催となりました。

イ オープニング

WE LOVE とよたサポーターズとして地元で活躍する TUT-1026 とひまわりネットワークアナウンサー 原田栄が総司会を務め、豊田市ならではの演出を行いました。

イ WE LOVE とよたの PR

「WE LOVE とよた」を実感できる取組として、オープニングで「WE LOVE とよたタイム」を設け、来場者に向けて豊田市の魅力を発信しました。

ウ 踊り全体

(ア) ベーシックスタイルとフリースタイルとに分け、踊りの巧拙だけでなく、多様な観点から審査を行いました。

(イ) 「ポップ誕生記念賞」を設け、ポップでの参加促進に努めました。また、総踊り全12曲のうち、11曲目に踊り連全員で、おいでんポップを踊る機会を設けました。

(ウ) 踊ることの楽しさを体感してもらうため、観客が踊りに参加できる「飛入り連」を設けました。

(エ) 熱中症対策として、暑さ指数(WGBT)を参考に、鼓笛隊等未就学児が出演する時間を考慮したプログラムにするとともに、踊りの曲数を短縮しました。

(オ) 熱中症対策として、商工会議所青年部有志(おいでん戦隊ミストレンジャー)によるミスト噴霧器を使った演出を実施しました。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

ア 新しい生活様式に対応した総踊りを計画し、開催しました。

(ア) おいでん総踊りでの踊り手の最少人数の変更（審査対象 12名→9名）

(イ) 踊り連の隊列変更（4列→3列）

(ウ) 踊り手同士の間隔確保（1.6mの間隔）

(エ) かけ声等の発声の自粛

(オ) 飲酒した状態での参加禁止

(カ) ステージおいでんの規模縮小

イ 参加受付時には、感染防止チェックシートを提出していただきました。

ウ アナウンスにてマスクの着用、手指消毒の実施及び観覧者同士の間隔の確保等と呼びかけ、感染対策の徹底を図りました。

※踊りに参加される方は、熱中症や酸欠などのリスクもあるため、体調に応じたマスクの着脱の判断をお願いしました。

エ 公式ホームページ、市公式ツイッター及びおいでん公式インスタグラム等で、新型コロナウイルス感染症対策の情報発信に努めました。

(4) 課題

参加する踊り連数が減少傾向にあるため、これまでに参加していただいた踊り連への呼びかけや、初めての方でも分かりやすい、参加しやすい仕組みを検討していく必要があります。

Ⅱ 花火について



1 花火大会

(1) 開催実績

- ア 開催日時 7月31日(日) 19:10~21:00
イ 観客数 7,842人(協賛席入場者数)
ウ 打上発数 非公開

種類	第54回	第51回
打上花火	29玉	27玉
手筒花火	20本	20本
仕掛け花火	4基	4基
スターメイン	32基	33基
地元花火師紹介創作花火	2基	2基
号砲	20玉	20玉

- エ 煙火業者等 株式会社拳母煙火(豊田市)、有限会社豊田煙火(豊田市)、株式会社磯谷煙火店(岡崎市)、株式会社紅屋青木煙火店(長野県)、有限会社太陽堂田村煙火店(長野県)、三遠煙火株式会社(静岡県)、田畑煙火株式会社(静岡県)
一般社団法人日本煙火芸術協会、松平郷手筒保存会

(2) 概要

- ア 新型コロナウイルス感染症対策及び矢作川河川敷の改修に合わせ、協賛席エリア等の会場レイアウトを見直しました。
イ 市公式ツイッター及びおいでん公式インスタグラム等の SNS を活用し、花火大会の魅力発信を行いました。
ウ 令和元年の第51回に引き続き、おいでんまつりの新たなシンボルになることを目指し、複数の協賛者により1つのスターメインを打ち上げる「おいでん大スターメイン サンフラワー」の取組を継続しました。
エ 「WE LOVE とよた」を推進する取組として、「WE LOVE とよた」の仕掛け花火を実施しました。また、協賛席内に「WE LOVE とよた」のロゴマークが入ったのぼりを立てました。
オ 花火開催前に、市内の夏の観光情報をナレーションに取り入れ、豊田の魅力を PR しました。また、世界ラリー選手権及びアニメシキザクラのナレーションも実施し、気運の醸成を図りました。
カ 会場の観覧者と共に打ち上げのカウントダウンを拍手で行うなど、新型コロナウイルス感染症対策にも配慮しつつ参加型の花火大会として趣向を凝らしました。

(3) 新たな取組と成果

- ア 新しい生活様式に対応したゆとりのある配席とし、協賛席内の密の緩和を図ることができました。
イ 豊田大橋と堤防道路をつなぐ市道にイス指定席を新たに設け、新型コロナウイルス感染症対策で協賛席数が減少する中、協賛席数の確保に努めました。また、このことに伴い、大橋入場ゲートを喜多町5丁目付近に設置し、人の流れの円滑化を図りました。
ウ 白浜公園にデッキが新設されたため、その形状を活かした観覧席を設置しました。
エ 従来のひまわりネットワークでの生中継に加え、YouTube による生配信を新たに実施しました。
オ 協賛席内へ入場の際、電子端末認証による入場管理を実施しました。さらに、再入場ゲートを設置することにより、人の滞留を防ぐことに努めました。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 新しい生活様式に対応したゆとりのある配席とし、協賛席内の密の緩和を図ることができました。【再掲】
- イ 協賛席内へ入場の際、電子端末認証による入場管理を実施し、感染リスクを減らすことができました。また、入場方法を公式Instagramで紹介し、スムーズな入場につなげることができました。
- ウ アナウンスにてマスクの着用、手指消毒の実施及び観覧者同士の間隔の確保等呼びかけ、感染対策の徹底を図りました。
- エ 公式ホームページ、市公式ツイッター及びおいでん公式Instagram等で、新型コロナウイルス感染症対策の情報発信に努めました。

(5) 課題

- ア 新しい生活様式に対応したゆとりのある配席としたため、協賛席数が約 14,000 席から約 8,000 席に減少しました。その結果、協賛金額の減少につながったため、協賛席数の増加を含めた協賛席エリアの見直しを検討する必要があります。

Ⅲ 警備について



1 会場警備・交通規制・雑踏

(1) 警備体制実績

(単位 人)

内 容		踊り		花 火		合 計	
		第 54 回	第 51 回	第 54 回	第 51 回	第 54 回	第 51 回
市職員	産業部	-	-	-	5	-	5
警備員	警備ディレクター	9	2	13	10	22	12
	警備隊長	13	-	28	28	41	28
	遊撃警備	59	6	84	91	143	97
	交通誘導警備	41	-	122	132	163	132
	雑踏警備	74	-	320	291	394	291
	駐車場警備	11	6	32	32	43	38
	整理誘導要員	5	1	58	55	63	56
	事前巡回等	0	6	5	5	5	11
消防団		32	-	300	300	332	300
合 計		244	21	962	949	1,206	970

(2) 概要

おいでん総踊り・花火大会

ア 警備計画を策定し、交通誘導警備員、雑踏警備員、駐車場警備員を適切に配置し、観客や通行車両を安全に誘導しました。

イ まつり本部内において、警備・警察・消防との連携体制を密にしたことで、過度な混雑状況等に対しても迅速に対応することができました。

ウ 警察、鉄道 2 事業者、実行委員会による 4 者協議を開催し、駅前の混雑緩和対応策の検討とその方針の共有を図ったことで、スムーズに観客を誘導することができました。

エ 花火大会において救急車などの緊急車両動線と、来場者の歩行者動線を確保するため、駅前停車場線、白浜側堤防道路上（久澄橋～高橋の間）に、カラーコーンなどの資材を用いて「緊急対策エリア」を設けました。

オ 立入禁止区域と交通規制区域内への進入防止や、会場周辺の渋滞を防ぐため、誘導・迂回看板、横断幕を適所に設置しました。

カ 青少年健全育成のため、豊田市駅周辺の若者滞留場所にフェンス等を設置し、駅前周辺の安全向上と防犯対策に取り組みました。

(3) 新たな取組と成果

ア 豊田市駅周辺の滞留対策として、とよしば周辺にて資機材を用いた動線確保を行いました。

イ テロ対策強化のため、踊り・花火会場の交通規制エリアにおいて単管バリケードを新たに設置しました。

ウ 鉄道利用客の往路・復路における動線を明確にするため、新規に警備員・看板を設置し誘導を行いました。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 各所へ警備員を配置し、人が滞留しないよう誘導しました。
- イ 案内を表示した看板を高所作業車へ設置し、会場周辺の混雑解消を行いました。
- ウ 会場周辺各交差点においてマイクアナウンスを実施し、花火大会会場往路復路における観覧客の適切な誘導と密集・滞留を防止しました。

(5) 課題

- ア 警備員のオペレーション共有が徹底されておらず適切な対応ができないケースがありました。
適切な人員配置の検討、指揮命令系統の整理が必要です。
- イ 喜多町 5 丁目交差点から豊田大橋において、過剰な混雑により、観覧者が滞留し、人が流れなくなりました。自由観覧エリアへ向かう観覧者の流れを確保する対策を検討する必要があります。

2 救護

(1) 救護実績

(単位 人)

状 況	踊り		花火		両日	
	第 54 回	第 51 回	第 54 回	第 51 回	第 54 回	第 51 回
怪 我 (うち、救急搬送人数)	1 (0)	- (-)	5 (0)	5 (1)	6 (0)	5 (1)
体調不良 (うち、救急搬送人数)	2 (1)	- (-)	13 (1)	24 (4)	15 (2)	24 (4)
その他 (うち、救急搬送人数)	0 (0)	- (-)	6 (0)	1 (0)	6 (0)	1 (0)
合 計 (うち、救急搬送人数)	3 (1)	- (-)	24 (1)	30 (5)	27 (2)	30 (5)

※救護所数	3 か所	-	7 か所	7 か所	7 か所	7 か所
-------	------	---	------	------	------	------

(2) 概要

- ア 各救護所に消防職員を配置し、水、氷、A E D、車イス、救急用医薬品等を設置しました。
- イ 救急車の出動時には、消防・警察・警備員と連携して、事前に定めたピックアップポイントを活用し、緊急対策エリアが有効に機能し、迅速な搬送が出来ました。

IV その他会場・運営について



1 運営スタッフ・ボランティア実績（清掃活動参加者を含む。）

（単位 人）

内 容		踊り		花火		両日	
		第54回	第51回	第54回	第51回	第54回	第51回
市職員	産業部	23	—	51	62	74	62
	消防	29	—	41	41	70	41
	その他応援	6	—	11	4	17	4
委託スタッフ	進行	9	—	21	21	30	21
	運営	48	—	91	72	139	72
	清掃	55	—	80	0	135	—
ボランティア	一般・市職員 互助会	45	—	31	51	76	51
	市役所職制会	0	—	0	140	0	140
	企業・団体	18	—	110	120	128	120
	合 計	233	—	436	511	669	511

2 ごみ・清掃対策

（1）ごみ回収量実績

（単位 kg）

区 分		踊り		花火		両日	
		第54回	第51回	第54回	第51回	第54回	第51回
資源ごみ	ペットボトル	150	—	1,300	1,400	1,450	1,400
	カン・ビン	115	—	770	1,070	885	1,070
燃やすごみ		420	—	3,100	3,980	3,520	3,980
産業廃棄物（廃プラ）		100	—	2,720	1,770	2,820	1,770
排出量合計		785	—	7,890	8,220	8,675	8,220

（2）概要

ア 専門の清掃スタッフ等により、ごみステーションの運営を行うとともに、会場内やその周辺のごみ分別・回収活動を実施しました。

イ ウイルスの飛散防止及び熱中症対策のため、各ごみステーションへヒスト扇風機を設置しました。

ウ 露店付近のごみステーションは、露店の営業時間と合わせた開設時間とし、スタッフの業務も早番と遅番の交替制をとり、効率的なごみの回収に努めました。

3 屋台広場

(1) 開催実績

7月30日(土)	拳母神社屋台広場	17:00~20:45	約 73店
7月31日(日)	豊田スタジアム東エリア	17:00~21:00	約 29店
	スカイホール豊田南入口エリア	17:00~21:00	約 40店
	八幡公園	17:00~21:00	約 95店

(2) 概要

- ア 屋台広場は、終了時間まで多くの人で賑わい、まつりの雰囲気を出し出すことができました。
- イ 消防と連携し各店舗に立入検査を実施し、消火設備等の確認を行い、安全確保に努めました。

(3) 課題

- ア 八幡公園では、観覧客と屋台広場利用客による滞留が発生し人流のコントロールが困難な時間が発生しました。適切な動線の確保等の対策が必要です。

V 協賛について



1 協賛実績（9月1日現在）

（単位 円）

区 分	第54回	第51回
花火	50,158,000	68,983,000
法人	26,843,500	26,576,500
バスツアー	-	2,244,500
個人	23,314,500	40,162,000
広告等	7,190,000	8,733,000
その他（賞金等）	572,500	528,500
合 計	57,920,500	78,244,500

※第52回は中止、また、第53回は協賛を募らず開催

2 概要

ア 企業による花火協賛が安定しており、企業とともにまつりを盛り上げることができました。

イ 個人協賛の受付では、新型コロナウイルス感染症対策のため席数を減らし、Web とハガキでの抽選方式による受付を行いました。

また、抽選方式受付終了後の先着受付においては、全国のセブン-イレブン及びチケットぴあサイトでの受付を行いました。

協賛受付の広報のため、豊田おいでんまつり公式ホームページはじめ、SNS、新聞広告、雑誌、ポスター等で広く豊田おいでんまつりをPRしました。

ウ 収入確保のため、協賛メニューを新設、また、日本煙火芸術協会花火の一部を協賛対象とし、受付を行いました。

エ 新型コロナウイルス感染症対策として、協賛席入場券にバーコードを印字し、電子端末を利用した非接触入場方式を導入しました。入場方法を SNS 等で事前に広くPRすることで、協賛者を混乱なくスムーズに入場させることができました。

3 課題

ア 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市外県外からのバスツアーを中止したほか、広告等協賛について想定どおりの協力を得ることができなかったことにより、協賛目標金額を達成できませんでした。今後は、新たな協賛者を増やすため、よりメリットを感じてもらえる協賛メニューや、募集を強化する手法を検討します。

イ 多くの方に花火を楽しんでもらえるよう、観覧について、様々な手段・方法を模索する必要があります。

ウ 新規取組として実施した抽選方式による受付方法を検証し、ウイズコロナ・滞留防止策を考慮した受付方法を検討します。

VI 総務・広報・宣伝について



1 総務

- (1) 業務が集中する期間（4/1～8/31）において、豊田おいでんまつり専任の臨時職員を1名雇用しました。
- (2) 台風等の影響に伴うまつり中止への対応として、興行中止保険へ加入しました。

2 広報宣伝実績

(1) テレビ放送

ア 東海テレビCM放送

7月18日（月）から28日（木）にかけて、30秒間のCMを9回放送しました。

イ ひまわりネットワーク生中継

おいでん総踊り・花火大会当日に、生中継を行いました。

また、YouTubeでも同様の内容をLive配信しました。

(2) 新聞広告

新聞名	掲載日
新三河タイムス	6/3（金）
朝日新聞 三河版	7/23（土）
毎日新聞 愛知版	7/28（木）
中日新聞 三河版	7/30（土）

(3) ポスター

踊り連募集とおいでんまつりをPRする2種類のポスターを作成し、市内各所に掲示することによっておいでんまつりを盛り上げました。

掲示先	掲示期間	踊り連募集用	まつり用
マイタウンおいでん運営委員会	3月中旬～	375枚	375枚
協賛企業・近隣市町村	3月中旬～	380枚	509枚
市内組合業者・宿泊施設	3月中旬～	35枚	525枚
市関係機関 他	3月中旬～	300枚	1,301枚
おいでんバス・名鉄バス	3月中旬～	100枚	102枚
名鉄電車・愛知環状鉄道	6月中旬～	-	1,338枚

（踊り連募集PR 1,190枚、全体PR 4,150枚）

(4) 公式ガイド

ア おいでん総踊り及び花火大会の情報を掲載した公式ガイドを15万部作成しました。

イ 7月23日（土）に、市内全域及び周辺地域に新聞折込を行うとともに、まつり当日に会場や中心市街地の施設などで配布しました。

(5) 新聞記事、広報とよた

ア おいでんまつりに関する記事を、中日新聞をはじめ各社に掲載していただきました。

新聞社	掲載日	内容
中日新聞	4月28日	第54回豊田おいでんまつり開催決定 総踊り 7/30 花火大会 7/31 マイタウンおいでん 6/4~7/17
朝日新聞	5月2日	第54回豊田おいでんまつり開催決定 実行委員会が感染症対策を取った上で開催
中日新聞	5月17日	第54回豊田おいでんまつり「踊り連」、「リトルおいでん」の追加 募集開始 コロナ対策ルール設け安心に応募を
中日新聞	6月5日	鞍ヶ池公園で「マイタウンおいでん」を皮切りに 6/4 今年のおいでんまつりが開幕 7/17 まで市内 14ヶ所で開催
日経新聞	7月6日	夏の花火、再び夜空に 中部3県 3年ぶり開催相次ぐ 豊田市は「豊田おいでんまつり」のフィナーレとして3年ぶりに開催
中日新聞	7月27日	豊田おいでんまつり実行委員会 新型コロナ感染防止のため市外からの来場自粛など呼びかけ HP 掲載
中日新聞	7月31日	第54回豊田おいでんまつり 5年ぶりに開催 総踊り熱く 28組 600人が出場 笑顔いっぱい躍動する
中日新聞	8月1日	夏の風物詩「第54回豊田おいでんまつり花火大会」 7/31 フィナーレ飾る 夜空彩る 久しぶりの大輪
中日新聞	8月6日	豊田おいでんまつり花火大会で見物客に事故防止呼びかける 「DJ ポリス」に初挑戦

イ おいでんまつり関係情報を広報とよたに10回出稿しました。

(6) 情報誌・インターネットサイトなど

県内外の情報誌、インターネットサイトなどに掲載していただきました。

宣伝媒体	件数	内訳 (件数)
情報誌	7	マイタウンおいでん (5)
インターネットサイト	10	総踊り (10)
合計	17	花火大会 (10)

(7) テレビ、ラジオなど

※ ○は実行委員会事務局が出演

放送機関	内 容	日 付	出演
ラジオラヴィート ホットニュースとよた	花火協賛受付、おいでん総踊り、 花火大会告知	5月10日、5月24日、 6月8日	○
東海テレビ チャージ	おいでん総踊り、花火大会告知	7月2日	
ひまわり（CATV） とよた NOW 特集	おいでん総踊り、花火大会告知、 コロナ対策・熱中症対策	7月25日～29日	○
東海テレビ スイッチ！	おいでん総踊り、花火大会告知	7月15日	
FM AICH 「COUNTDOWN FRIDAY」	おいでん総踊り、花火大会告知	7月22日	○
ひまわり（CATV）	おいでん総踊り中継	7月30日	
ラジオラヴィート	おいでん総踊り中継	7月30日	
ひまわり（CATV）	花火大会中継	7月31日	
ラジオラヴィート	花火大会中継	7月31日	
名古屋テレビ ドデスカ！	コロナ対策・熱中症対策	8月1日	○
名古屋テレビ アップ！	コロナ対策・熱中症対策	8月1日	○

3 概要

- ア おいでんまつり開催前からまつりムードを高めるため、おいでんまつりに関する情報が市民の目に触れるように、定期的に報道発表を行いました。
- イ 東海テレビ放送によるCM放送では、おいでんまつりのイメージ向上について幅広い周知をすることができました。
- ウ テレビ・雑誌・ラジオなどメディアの取材でPR活動を行うとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を積極的に呼びかけました。
- エ 公式ホームページ及び公式インスタグラムを通し、おいでんまつりの特徴や魅力、各種情報を多くの方に発信することができました。開催に関する事前情報を発信したことにより、大きな混乱を防止するタイムリーな発信ができました。
- オ 市公式SNS（Twitter、Facebook、line）の活用、ツーリズムとよたHP及びFacebookの発信のほか、ひまわりネットワークと緊急情報発信に関する覚書を締結し、開催情報などを幅広くかつスピーディーに発信する体制を構築しました。また、多くの報道機関にご協力いただき、各種情報を展開しました。

4 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 感染症拡大を防止するため、市外、県外からの来場の自粛を呼びかけました。
- イ そのため、市外での宣伝効果が高いPRは減らし、参加呼びかけは市内の広報をメインに実施しました。
- ウ 来場・観覧を自粛した方に向け、ケーブルテレビやYouTubeでの配信をおこないました。

5 課題

- ア 多くの方に愛されるふるさとのおまつりとして、まつり開催直前だけでなく、年間を通し継続的に発信を行うことが必要です。
- イ 幅広い世代や市内外に広くまつりを周知するため、時代に適応した広報手法を引き続き検討します。